



転写と RNAi を介したヘテロクロマチン形成機構

講師：大屋 恵梨子 先生

北海道大学大学院 理学院 化学部門
生物有機化学研究室

日時：9月25日（火）午後 1:30 より

場所：4号館3階 大講義室

概要

真核生物の長い DNA は、染色体中でクロマチンと呼ばれる構造によって効率良く折りたたまれ、小さな核の中に機能的に収納されている。特に、染色体の維持に重要なセントロメアやテロメアには、高度に凝集した構成的なヘテロクロマチン構造が見られ、その外観から、「不活性なクロマチン構造」だと思われてきた。ところが、近年の解析から、このヘテロクロマチンは非常にダイナミックな構造であり、その非コード領域からの non-coding RNA の転写や、RNA 干渉に類似した機構がその構造の維持に重要な役割を果たしていることが明らかになってきた。しかし、その機構には未だに多くの謎が残されており、我々は分裂酵母をモデル生物として解析を進めている。本セミナーでは、RNAi 依存的なヘテロクロマチン形成機構を制御する転写因子に焦点を当て、新しい知見を紹介したい。

世話人：中山潤一（内線 5866, E-Mail: jnakayam@nsc.nagoya-cu.ac.jp）